

《基礎教育科目 基礎教育科目 選択必修》

科目名	子どもと自然（幼児と環境）				
担当者氏名	岡田 準人				
授業方法	講義	単位 卒業の必修・選択	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・前期
科目 / 施行規則に定める 科目区分又は事項等					

《授業の概要》

子どもにとって自然とは、自然との触れ合いや、自然中での遊びを通して様々な感性をのばすための大切な環境の一つである。そのため子どもと自然が関わりを深めていくためには、保育者自身が普段から身近な自然環境に興味を持ち探求する姿勢を身につける必要がある。

本講義では我々を取り巻く地球環境や自然環境身近な動植物について、それらの観察や調査教材の開発などを通して自然を科学的にとらえ探求する方法を学ぶ。

なお、本講義の一部において、アクティブラーニングとしてグループ・ワークを行う。

《授業の到達目標》

1. 子どもを取り巻く自然を理解し、自然を通じて主体的に子どもが遊べる指導方法を身につける。
2. 身近な動植物の観察を通して、ともに自然界を生きる動植物に親しみ、生命の尊さを理解する。
3. 地球環境の現状と教育に果たす役割を理解し、子どもが理解できる形で表現する手法を身につける。

《成績評価の方法》

課題（ワークシート・対面授業時の授業内課題等）60％・発表20％・平常点（受講態度等）20％

《参考図書》

適宜資料を配付する。

《教科書》

なし

《科目番号 / 担当形態 / 免許資格の必修区分 / 備考》

科目番号：C01

担当形態：単独

幼稚園教諭：・

保育士：・

備考：アクティブラーニング実施

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容 / 学習課題【予習復習・時間】
1	子どもと自然について	子どもの頃の自然との関わり方を思い出し、子どもが自然と関わることの意義を考える / 子どもの頃に自然とどのように接していたかを思い出しておく【30分】
2	保育と自然	保育者の視点から、子どもを取り巻く自然について学ぶ / 子どもを取り巻く自然について整理しておく【30分】
3	身近な環境の自然探索	身近な環境の自然を探索し、樹木などの植物や、昆虫などの動物について調べる / 子どもの頃に自然の中で遊んだことを思い出しておく【30分】
4	身近な環境の自然マップの作成	身近な環境の自然マップを作成する / 自然マップの内容を整理しておく【30分】
5	身近な環境の自然マップの作成	身近な環境の自然マップの内容を発表する / 自然マップの内容を振り返っておく【30分】
6	自然と遊び	身近な自然を利用し、フィールドビンゴを作成する / 自然を利用した遊びについて調べておく【30分】
7	自然と遊び	身近な自然を利用し、フィールドビンゴを企画し、保育者と子どもの立場から実践する / フィールドビンゴを作成・実践して気づいた点を整理しておく【30分】
8	身近な植物の観察	身近な樹木などの植物を観察し、スケッチする / 植物図鑑に目を通しておく【30分】
9	身近な動物の観察	身近な昆虫などの動物を観察し、スケッチする / 動物図鑑に目を通しておく【30分】
10	環境紙芝居の制作	環境紙芝居を理解する / 環境に関する紙芝居・絵本を読んでおく【30分】
11	環境紙芝居の制作	環境紙芝居を制作する / 環境紙芝居の構成を検討しておく【30分】
12	環境紙芝居の制作	環境紙芝居の制作と発表準備を行う / 環境紙芝居の発表準備をしておく【30分】
13	環境紙芝居の制作	環境紙芝居の内容を発表する / 環境紙芝居の内容を振り返っておく【30分】
14	身近な地球環境問題	【課題研究】身近な地球環境問題について学ぶ / 新聞やニュースなどで身近な地球環境問題を調べておく【90分】
15	まとめ	【課題研究】子どもと自然について、これまでに学んだことを整理し、レポートを作成する / これまでの講義の内容を振り返っておく【90分】